

新型コロナウイルス感染症の 影響に伴う博士課程の在学について

採用年度	令和4年度
資格	DC2 DC1
書面合議審査区分	
受付番号	

令和4年 月 日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

研究機関長
機 関 名
職 ・ 氏 名

下記の者は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年4月1日時点で、特別研究員DCの資格要件である博士課程の在学月数を満たさない者であることを認めます。

記.

所 属 :
(研究科等)
氏 名 :
生 年 月 日 :

※現在、博士課程後期に在学している場合は、以下を記入してください。

標準修業年限

在学する博士課程の標準修業年限は 3年間 4年間 5年間 である。

入学年月日（令和4年4月1日時点）

入学年月日（入学の他、進学・編入学・転学・再入学等の事由が発生した年月日）は 年 月 日である。

※（編・転・再入学の場合のみ記入してください。）編・転・再入学の際の在学期間換算は 年 ヶ月である。

休学の有無

博士課程在学期間中の休学 有 無

※（休学がある場合のみ記入してください。）休学期間の合計は 年 ヶ月である。

【研究機関の事務局が確認（チェック）してください。】

研究機関長の承認：承認済

■研究機関事務局 お問い合わせ先（研究機関の事務局にて記載ください）

機関名・部署名： _____

メールアドレス： _____ 電話番号： _____

- (注) ①研究機関は、受入研究機関（博士課程）（DC2の場合）、又は現在在学中の大学院（DC1の場合）です。
②研究機関長は、原則として学長です。
③研究機関長の押印は不要です。
④本書類の内容について疑義が生じた場合、本会から書類の発行機関にお問い合わせを行う場合があります。